

## 平成22年度 音楽Iの学習（シラバス）

### 1 科目名, 単位数, 履修学年, 履修区分, 使用する教科書

科目名	音楽I	単位数	2	履修学年・区分	第1学年
使用する教科書	MUSIC ATLAS (教育出版)				

### 2 学習目標

<p>◎ 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。[要するに、音楽的な能力（楽器の演奏とか歌を歌うこととか音楽を聴くこととか）を高め、音楽好きな生徒を育てましょう！ということです。]</p>
---

### 3 学習方法

<p>① 高校での学習の基本は授業です。先生の話をよく聞く、積極的に音楽に取り組む、課題をきちんと提出する、これらのことを着実にこなせば、どんどん音楽の力はつきます。          中学時代に音楽の授業が苦手、もしくは嫌いだった人もいます。歌が苦手、笛が苦手、音符読めないから嫌い・・・安心してください。本校の芸術の授業は音楽のみですので、様々な種類の音楽を行います。歌、リコーダー、鑑賞、楽典（音楽のルール）全てを初歩から行いますので、実技系が苦手な人は筆記系（楽典、鑑賞）を頑張れば大丈夫です。          初めからあきらめずに意欲的に取り組みましょう。</p> <p>② 演奏（歌唱）するにも鑑賞するにも「楽譜が読める」ことは重要な手がかりになります。楽譜を読めるように授業は進みますので、がんばりましょう。もちろん初歩の初歩から始めます。</p> <p>③ アルトリコーダーを使用しますので、必ず用意してください。</p> <p>④ 必要に応じて、実技テストと筆記テストを行います。実技テストは授業の中で、筆記テストは定期考査期間中に行います。実技テストが苦手な人は筆記テストを頑張る、筆記テストが苦手な人は実技テストを頑張る、両方苦手な人は、両方頑張るといようにすれば大丈夫です。</p>
--

### 4 学習計画

学期	学習内容（单元名）	学習事項・学習活動	評価のポイント
第1学期	リズム  校歌	<p>基本的なリズムを学習します。</p> <p>簡単なボディーパーカッションの曲をアンサンブルします。</p> <p>リズムに音程の加わった曲を歌います。野球応援にあわせて、6月頃より取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的リズムパターンを感じ、演奏できたか。</li> <li>・楽曲のリズムを理解し、アンサンブルを感じ、主体的に表現できたか。</li> <li>・校歌を覚え、歌えたか。</li> <li>・校歌の楽譜を読めたか。</li> </ul>
第2学期	器楽（リコーダー）  歌唱	<p>プリントを利用して、リコーダーの指づかいから丁寧に学びます。</p> <p>指づかいを覚えたら、簡単な曲を演奏します。その際、楽譜の読み方も勉強します。</p> <p>日本の歌「少年時代」 「ふるさと」 イタリアの歌「Caro mio ben」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な指使いを覚えたか。</li> <li>・楽譜を読み、理解し、簡単な楽曲を演奏できたか。</li> <li>・楽譜を読み、理解して、それぞれの楽曲の情景を思い浮かべながら表現（歌唱）できたか。</li> </ul>

	鑑賞	世界の音楽 ミュージカル 「オペラ座の怪人」	・様々な音楽を鑑賞し、その印象を文章で表現し、共有できたか。
第 3 学 期	楽典	音名（ハニホやCDEなど）について、教科書、プリントを使用して学びます。 音階について教科書、プリントを使用して学びます。	・音名を覚えたか。 ・音階の仕組み、種類について理解できたか。 ・学年末考査を行います。

## 5 学習評価

音楽の成績を評価するときに、最も重視されるのは日々の授業に取り組む姿勢です。

音楽は体育同様「実技教科」です。日々の授業で身に付けた力を試すためにテストをします。（笛の練習を普段の授業で一生懸命やらなかったら、笛のテストで良い結果は残らないですよ）

例えば、普段の授業で一生懸命苦手な笛の練習をしているけど、やっぱり笛は昔から苦手で、テストでは上手にできなかった、という人は、ちゃんと日々の努力を評価します。笛は得意だから普段の授業はサボってもテストでは上手にできる、という人も、ちゃんと日々の努力を評価して、成績は悪くつきません。筆記関係も同じです。

もちろん、私語をしていたり、出歩いたり等の授業のルールを守れない人は、はなしになりません。評価の対象外（要する に1）になります。